

自律するライフスタイルと
ユニバーサル社会を支える
あまみず技術を学ぶ

あまみずコーディネーター 養成講座 2017

都市型水害への対策として、空間的に分散した水管理システムの構築が必要です。そのためには、多くの市民と技術者の参加が不可欠です。分散型水管理システムを推進するために、まずは、その基本の考えと要素技術、それを支えるコミュニティデザインを、多くの人々とともに学ぶ場の設置と継続が重要です。そこで昨年度に引き続き、全国の先進事例に取り組む講師陣を招いて、本講座を開催します。今年度は、全国で頻発する豪雨被害に対する、復旧支援についても議論します。

【時期】 2017年12月15日(金)ー16日(土)

**【場所】 福岡大学文系センター 第4会議室・
図書館多目的ホール**

【参加費】 無料 (テキスト付)

【定員】 60名 (先着)

【募集締め切り】 11月30日(木)

**【WEB】 <http://amamizushakai.wixsite.com/amamizu/h29>
(詳細はこちらに掲載します)**

DESIGN : KENICHI MASAKI



▲ 昨年の演習の様子

【こんな人におすすめ】

- **基礎コース(15日) :**
あまみず活用した家づくりや、環境にやさしい社会づくりに関心のある人
(一般の方もぜひ！)
- **応用コース(15・16日) :**
建築・土木・造園などの技術者で、あまみず活用を仕事に適用したいと考えている人

【講師／プログラム】

● 基礎・応用コース 15日(金)「座学」 9:30～16:30

- ・ 島谷幸宏 (河川工学・河川環境 九州大学工学研究院教授)
／頻発する豪雨災害とあまみず社会
- ・ 山下三平 (景観・デザイン・まちづくり 九州産業大学教授)
／あまみず社会における日常と非日常の融合
- ・ 神谷博 (雨の建築 法政大学兼任講師) ／あまみず活用の技術と認定制度
- ・ 森本幸裕 (景観生態学 京都学園大学教授) ／雨庭の思想と技術の進展
- ・ 渡辺亮一 (水環境工学 福岡大学教授) ／雨水ハウス
- ・ 田浦扶充子 (九州大学研究員) ／あめにわ憩いセンター
- ・ 阿野晃秀 (ランドスケープデザイン・京都学園大学助手)
／京都学園大学京都太秦キャンパス
- ・ 浜田晃規 (河川工学 福岡大学助手)
／平成 29 年 7 月九州北部豪雨と災害ボランティア
- ・ 終了後、希望者は「あまみず科学センター」(福岡大学内) を見学。
学内にて懇親会。

● 応用コース 16日(土)「演習」 9:30～12:30

- ・ 竹林知樹 (ランドスケープデザイン 九州大学研究員)
／あまみずデザインワークショップ

【CPD 認定】

技術士 CPD、建築士 CPD (基礎コース 5 単位、応用コース 8 単位)

【主催】

あまみず社会研究会 (国立研究開発法人 科学技術振興機構 社会技術研究開発センター「持続可能な多世代共創社会のデザイン」研究開発領域平成 27 年度採択プロジェクト)

【後援】

福岡市 福岡県 福岡県建築士会 風景デザイン研究会
建設コンサルタンツ協会九州支部 雨水貯留浸透技術協会 雨水ネットワーク
土木学会西部支部 土木学会景観・デザイン委員会 日本緑化工学会 (予定)
日本景観生態学会 応用生態工学会 九州産業大学水循環社会技術研究所
福岡工業大学環境科学研究所

【申込み／問合せ】

Email: contact@tomokitakebayashi.com に、①氏名 ②所属 ③住所 ④携帯電話番号
⑤希望コース ⑥懇親会 (15日) ご出欠を書いてお申込み下さい。郵送の場合は
〒8190395 福岡市西区元岡 744 ウエスト 2 号館 1008 号室 竹林宛まで。
電話 092-802-3419 (九大流域システム工学研)